

されるが、一般的には、寄付者の意思が尊重されるものと考えられる。

また、多額の寄付をきっかけとした基金の設立や、環境保全・まちづくりなど特定目的の基金を設置して住民や企業・団体に寄付を呼びかけるなど、基金と組み合わせた形で活用されることも多い。

このように、自治体側から見た寄付の受け入れは、歳入予算案の作成時点などで事前に時期や金額を予測することが難しく、状況によって用途に制限を受けることも多いなどの課題がある。

3. マッチングギフト（上乘せ寄付）

寄付を受けることを積極的にアピールする形で展開される地方自治体事業として、マッチングギフトの考え方を取り入れる事例が見られる。

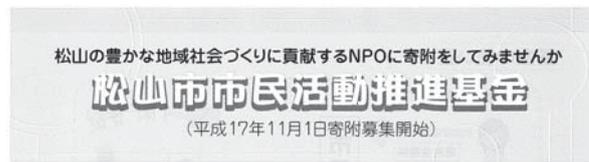
マッチングギフトは、もともと1960年代後半にアメリカのゼネラル・エレクトリック社（GE）が始めたもので、社員が個人的に行うNPOや教育機関などへの寄付に対し、企業が寄付金を上乘せ（マッチングギフト）して拠出する社会貢献のプログラムである。アメリカでは多くの企業が同様のプログラムを取り入れており、社会貢献の有力なツールとして一般的なものとなっている。

宮崎県宮崎市は、マッチングギフトの考え方を取り入れた事業を自治体として全国で初めて実施したことで知られる。同市の市民活動支援基金は、2001年（平成13年）のボランティア国際年を記念して、市が拠出したボランティア国際年記念基金1千万円をベースとしている。これに、市民、事業者、団体から寄せられた寄付金と、市が同額を上乘せ（マッチングギフト）し、合計金額を基金に積み立てている。基金を財源に、市民活動団体が企画・運営する事業に対し補助金を交付する仕組みである。

同じような仕組みは愛媛県内においても平成17年度に松山市が創設している。松山市は市民活動推進基金を立ち上げ、市民から寄せられた寄付に同額の市費を合わせて積立て、NPO等に助成し市民活動の活性化を図っている。個人寄付は所得控除、法人寄付は損金参入が可能となっている。寄付の際、希望する活動分野を指定することがで

きることや、交付対象団体の公開選考審査会を実施しているなど、用途の透明性確保にも配慮されている。

図表5 松山市市民活動推進基金



市民活動推進基金とは…

市民ニーズが複雑かつ多様化する中、これまでのように行政だけが公的サービスを提供することは、効果という点でも市民満足度の向上という点でも十分ではないと考えられます。近年、公共を担う可能性を持った多くのNPOが生まれ育ちつつありますが、こうしたNPOによる活動は、活気に溢れ魅力あるまちづくりに重要な役割を果たすことが期待されています。そこで、「松山市市民活動推進基金」は、市費と市民の皆様からの寄附金を活用し、官民一体となってNPOの活動を支援するもので、こうした取組みにより、地域に暮らす人々が快適な生活を送ることのできる豊かな環境づくりにつなげてまいります。

※ここでいうNPOとは、一定の要件を満たした市民活動団体を指し、法人格の有無を問いません。

特徴…

- ★ 寄附先として、活動分野を希望することができます。
 - ※ 寄附金は、市民活動推進委員会の公開審査を経て、市が達成先及び一定の基準に基づき補助額を決定します。活動分野（リスト参照）を希望して、寄附された皆様の意思は参考にさせていただきますが、申請団体の応募の状況により、ご希望に添えないこともあります。このような場合でも、寄附金を返還することはできませんので、ご了承ください。
- ★ 税制上の優遇措置があります
 - 個人が寄附した場合
 - （所得税） 寄附金額 - 5千円 ⇒ 所得控除額
 - ※ただし、上限は寄附者の年間所得総額の30%が限度です。
 - （地方税） 寄附金額 - 10万円 ⇒ 所得控除額
 - ※ただし、上限は寄附者の年間所得総額の25%が限度です。
 - 法人が寄附した場合
 - 法人の有する通常の損金算入限度額にかかわらず全額損金算入できます。

（税制上の優遇措置を受けるには…）
毎年3月15日までに、前年分の所得を税務署に申告します。その際、市が発行した「寄附金受領証明書」を添付して申告してください。

（松山市ホームページより）

また、図表6のとおり、大阪府、愛知県、千葉県、神奈川県などの自治体でもマッチングギフトの導入事例が見られる。把握できた範囲では、埼玉県北本市が「宮岡の谷津」を保全するための環境保全事業や啓発活動を進めるトラスト活動を目的としている以外は、すべての事例が市民活動や公益活動の支援を目的としている。

日本においても、近年、マッチングギフトプログラムを導入する企業が増えてきているが、アメリカとは異なり、寄付主体が個人ではなく職員グループとなっているものが多い。すなわち、職員グループが積み立てたお金を募金する場合に、企業がマッチングギフトするといった仕組みである。

例えば、花王の「ハートポケット倶楽部」は、社員による社会的支援を目的とした組織で、趣旨に賛同する社員が毎月の給与から任意の金額を積み立て、社会的支援